

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道癌手術における腹腔鏡手術及びロボット支援手術による腹部操作の有用性
1. 研究の対象および研究対象期間 2018年1月1日から2029年3月31日までに昭和大学病院 消化器・一般外科/食道がんセンターで食道癌に対して胸腔鏡下食道亜全摘術が施行された患者さん。
2. 研究目的・方法 昭和大学病院の食道癌手術は、胸部は胸腔鏡(ロボット手術も含めて)で行なっていますが、癌を取り出すために、腹部は小開腹をして、用手補助下手術を従来行ってきました。しかし、術後腹痛がりハビリの妨げになる事もあり、これまでの問題点でもありました。近年は、腹部手術を腹腔鏡手術、ロボット支援下手術にて行い、小開腹創をなるべく小さくすることで術後腹痛の軽減を図っていますが、その分手術時間が長くなるなどの問題もあります。そこで、現在行なっている腹腔鏡手術、ロボット支援下手術が、患者さんにとって有効かどうかを調査するのが目的です。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2029年 3月 31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景(性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態) 食道癌の腫瘍因子・進行度、術前治療、術後治療、再発形式、無再発期間、生存期間 周術期疼痛評価、運動機能評価、体重評価、食事摂取評価
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学医学部外科学講座 消化器・一般外科学部門

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院食道がんセンター 氏名：五藤 哲

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541